

21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

PRESS RELEASE

2024.9.30



Fabbrica dell' Aria® PNAT
2023
©photo Takumi Ota

開館20周年記念

すべてのものと ダンスを踊って —共感のエコロジー—

2024年11月2日(土)～
2025年3月16日(日)

展覧会名	開館20周年記念 すべてのものとダンスを踊って—共感のエコロジー
会期	2024年11月2日(土)～2025年3月16日(日)
休場日	毎週月曜日(ただし11月4日、2025年1月13日、2月24日は開場)、 11月5日、12月29日～2025年1月1日、1月14日、2月25日
開場時間	10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで) ※観覧券販売は閉場の30分前まで
会場	金沢21世紀美術館
料金	一般 1,400円(1,100円) / 大学生 1,000円(800円) / 小中高生 500円(400円) / 65歳以上の方 1,100円 ※本展観覧券は同時開催中の「コレクション展」との共通です ※()内はWEB販売料金と団体料金(20名以上)
主催	金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
助成*	令和6年度 文化庁 我が国アートのグローバル展開推進事業、日本万国博覧会記念基金、 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ
協賛*	エルメスジャパン株式会社、アルスコンサルタンツ株式会社、株式会社テクニカルアイ、 株式会社 エイ・エム、ワイドクラフト株式会社、エステックホールディングス株式会社、 株式会社LINNAS Design、OMO5金沢片町 by 星野リゾート、 デロイトトーマツグループ、株式会社太陽テント北陸、株式会社 中川ケミカル
協力*	総合地球環境学研究所 上廣環境日本学センター、国立民族学博物館、 在日オーストラリア大使館、株式会社 資生堂
後援*	駐日ブラジル大使館、在日イタリア大使館、北國新聞社、趣都金澤 ほか
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL: 076-220-2800

※予定を含む

本資料に関する
お問合せ 金沢21世紀美術館 担当学芸員: 本橋仁、池田あゆみ
広報担当: 吉富智大、石川聡子、落合博晃
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
https://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp

21



展覧会概要

動物や植物、それに身近に転がる様々なモノたち。人間を取り巻く、ある限り全ての存在と共にダンスするように、この地球の抱える諸処の問題を乗り越えたい。金沢21世紀美術館は、開館20周年を迎える今年、「新しいエコロジー」という年間テーマに呼応して、本展を開催します。社会や精神までを含みうる、総合的なエコロジー理論の行く末を、アーティストの鋭敏な感性と観察を通じて作品として展示します。また本展では、同じヴィジョンを共有する科学者や哲学者などの研究者たちと協働し、専門的な内容を視覚化、可感化することで、感覚を通じた学び (Sensory Learning) として見るものに伝えます。辺境を含めたアフリカ、南アメリカ、アジア、欧米の芸術家、クリエイターが集い、美術館の空間の中でお互いにダンスを踊るように生命と共に生き延びるための知恵を分かち合います。鈴木大拙、西田幾多郎を生んだこの金沢の地で、全てのものを包摂するヴィジョンが共生のプラットフォームとなります。

展覧会の特徴

踊るためのプラットフォーム

私たちが住むこの惑星、地球が危機に直面しているいま、全ての他者 (マルチスピーシーズ) と繋がりたい。言葉を超えて共感する方法としてのダンス、本展ではアートがそのダンスのためのプラットフォームとなります。グローバルに活躍する現代アーティストや、アマゾンの先住民、金沢の華道家らによる多様なアートがうみだす活力とエネルギーの感覚「パイプ」が見るものを共感のダンスに誘います。

学びの場所としてのプラットフォーム

アーティストと、文化人類学者や科学者、建築家との領域を横断した協働によって、現代アート作品と、専門性の高い情報を直感的に感じられるように展示します。美術館を感覚を通じた学び (Sensory Learning) の場とすることで、新たなエコロジー理論と実践について、ディスカッションやワークショップなど通して会期中展開します。

伝統と現代の出会いのプラットフォーム

輪島塗、珠洲焼、九谷焼。元日の能登半島地震で被災して金沢に避難している輪島塗の職人が、震災で破損した焼き物を漆と金を用いて修復する技術「金継ぎ」によって新しい形に再生するプロジェクト「rediscover」を美術館で展示します。ナイジェリア出身のアーティスト、オトボン・ンカンガ氏は、地元の複数の工芸作家と協働し、彼らの物語をかたるインスタレーションをつくります。現代アートによって伝統が再発見され、新しい創造が生まれます。

出品予定作家
(姓のアルファベット順)

マリア・フェルナンダ・カルドーゾ、道念邦子、オラファー・エリアソン、フォルマファンタズマ、AKI INOMATA、エヴァ・ジヨスパン、カプワニ・キワンガ、ステファノ・マンクーゾ、オトボン・ンカンガ、PNAT、佐藤浩一+梅沢英樹、新城大地郎、床州生、Rediscover project実行委員会、ソーレン・ソールキア、アドリアン・ヴィシャル・ロハス

[アマゾンなどの作家]

エファシオ・アルヴァレス、ヤイーラ・エウアナ、フロリベルタ・フェルミン、シエロアナウエ・ハキヒュイ、クレメンテ・フリウス、ジャイダ・イズベル、エステバン・クラッセン、イバン・フニ・クイン、アセリーノ・フニ・クイン、パネ・フニ・クイン、ヤカッ・フニ・クイン、オズヴァルド・ピトエ、ジョゼッカ・ヤノマミなど

[北西海岸先住民の作家]

フクアットチュ(ロン・ハミルトン)、リチャード・ハント、サイモン・ルーカス、ティム・ポール、アート・トンブソン、ショーン・フーノック

[イヌイットの作家]

アニングネーク、ソロシルツ・アショーナ、アヴァーラキアック・アヴァラキアク、イクシラック、トマシー・イルフミア、カンゲルユアック、キーレーメウミー、コケーヤウト、ジョシー・ナツパツク、ジェシー・オーナルク、ジョシー・P・パピアルク、ピツイウラク、オシヨーチアク・プッラット、パドロ・プッラット、ルーシー・ケンノアヨアク、イカユクタ・トゥンニツリー、ウクパティク

[東アフリカの作家]

Kalembo、ノエリ、ピーター

[プロジェクト]

アニマ・レイブ:存在の交差点で踊る

(総合地球環境学研究所、能作文徳、常山未央、保良雄、澤崎賢一、ガラージュ、藤枝守 他)

[ワークショップ]

マヤ・ミンダー

広報用画像

画像1～5を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、当館プレスルームの画像提供ページからお申し込みください。

https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。



2

オトボン・ンカンガ
《Unearthed - Sunlight》2021
作家蔵
Photograph: Markus Tretter
© Otobong Nkanga



3

ジャイダ・イズベル《A confissão da onça》2021
個人蔵
Courtesy of Millan, São Paulo and Galeria Jaider Esbell
de Arte Indígena Contemporânea.
Photo: Filipe Berndt



4

マリア・フェルナンダ・カルドーゾ
《On the Origins of Art I-II》2016
© Maria Fernanda Cardoso

連携企画

もっと踊ろう!共感のエコロジー



イラストレーション：赤池佳江子

展覧会「すべてのものとダンスを踊って—共感のエコロジー」と、同時期に開催される展覧会やワークショップ、トーク、パフォーマンスなどのプログラムを繋げます。本展と同じテーマを掲げる企画を「もっと踊ろう!共感のエコロジー」と呼び連携企画として位置づけます。

[対象]

以下の条件を満たす企画であること

- ・「エコロジー」「共生」「感性」といった本展と同じテーマをもった企画であること
企画のフォーマットは問いません。展覧会、ワークショップ、トーク、パフォーマンスなど様々なプログラムを受け入れます。
- ・北陸3県内で開催、またはインターネットを利用して誰もが参加できるプログラムであること
- ・本展開催期間の11月2日～3月16日に開催されていること
- ・「すべてのものとダンスを踊って—共感のエコロジー」展の広報に協力できること
- ・有料・無料は問わないが営利目的でないこと

[連携内容]

金沢21世紀美術館が提供するもの

- 1) 金沢21世紀美術館公式サイトに、「もっと踊ろう!共感のエコロジー」企画の特設サイトを設け、参加プログラムを紹介します。
- 2) 金沢21世紀美術館内にて参加プログラムのチラシ等を配置するコーナーを設け、来場者への情報提供を行います。

参加プログラムにお願いすること

- 1) 参加プログラムには「すべてのものとダンスを踊って—共感のエコロジー」の連携企画「もっと踊ろう!共感のエコロジー」とわかるようチラシやWEBサイト等に可能な限り明記していただき、相互の発信に努めていただきます。
- 2) 参加プログラムの会場内に当館の展覧会のチラシ、ポスター等を配置していただきます。
なお、当館で本展の関連企画としてトークイベントなどを企画中です(未定)。
場合によっては企画者またはアーティストにご出演をお願いする場合があります。

[応募期間]

8月14日～9月30日

[応募方法]

当館WEBサイト内の申し込みフォームからお申し込みください。

条件等の確認の上、参加プログラムとして決定、主催者に通知させていただきます。